



会場内は大盛況となり、参加者全員で踊った「鹿児島おはら節」↑

★ 長島町 関東ながしま会総会 島弁でふるさとを語る

長島町の出身者でつくる、関東ながしま会（児島寛会長）の第6回総会が11月18日、東京都上野精養軒で開催されました。

大会当日は、総勢150人余りの出身者が集まり、まずは物故者へ黙祷。児島会長は「みんなが集まる年1回の総会を楽しみにして、同会を充実させていきたい」とあいさつしました。

この後、お祝いに駆けつけた川添健町長から長島町の近況報告などがあり、参加者は熱心に話しを聞いていました。懇親会では、本町特産の「島美人」で程よく酔いが回り始めると、会場内では長島弁が飛び交い思い出話に花が咲いていました。会場では、今回から満年齢60歳、70歳、80歳のかたには記念品が贈られたほか、本町の特産品などが当たる大抽選会も開催され、大賑わいとなりました。

↓県知事表彰を受けた濱畑さん（左）と西村さん（右）



★ 永年功績で濱畑さんと西村さんの二人 県障害者保健福祉大会で県知事表彰

11月1日、鹿児島県障害者保健福祉大会が鹿児島県民交流センターで開催され、広野集落の濱畑正登さんと川内集落の西村春己さんの二人が、県知事表彰を受けました。

濱畑さんと西村さんは、永年にわたり長島町身体障害者協会の会長や役員などを歴任し、障害者福祉の向上に貢献してきたことが認められ、今回の受賞となりました。

濱畑さんは「これまで周囲のかたがたに助けてもらった。今後も人の役に立つように頑張りたい」と喜び、西村さんは、「微力ながら活動を続け障害者福祉の向上を図りたい」と話しました。



山迫さん（左から2番目）と高尾野青年団の皆さん↑

★ 山迫秀作さんが最優秀賞 全国青年大会で意見発表

11月9日から12日の日程で、全国青年大会が東京で開催され、田尻集落の山迫秀作さんが文化の部で意見発表を行い、最優秀賞を受賞しました。

山迫さんは、職場のある出水市高尾野青年団に所属しており、今回は母親が病気を患ったことから生きることの大切さと、これまでの人との出会いで自分が成長したことを「一期一会」のタイトルで発表し、審査員を感動させました。

受賞後山迫さんは「今回発表する機会ですべての大切なことを実感できた。今後たくさんのお会いを自分の財産にしたい」と話しました。

まちの話題